



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会社名 株 式 会 社 四 国 銀 行
 代表者名 取 締 役 頭 取 山 元 文 明
 (コ ー ド : 8387、 東 証 第 1 部)
 問合せ先 取 締 役 総 合 企 画 部 長 小 林 達 司
 T E L (088)823-2111 (代 表)

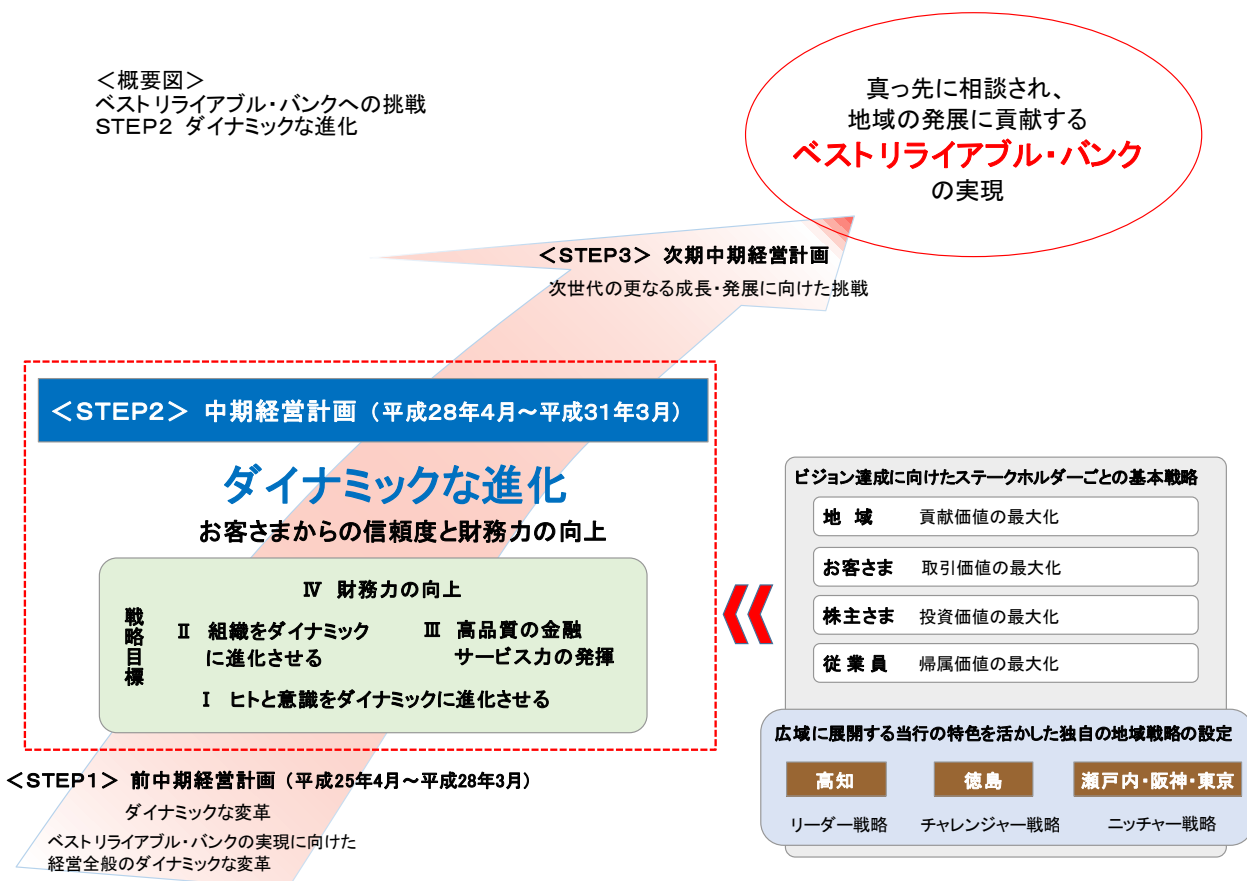
中期経営計画 最終年度（平成 30 年度）の重点施策と数値目標について

株式会社四国銀行（頭取 山元文明）は、一昨年 4 月に公表しました中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ 2」（平成 28 年 4 月～平成 31 年 3 月）について、外部環境の変化や中間年度までの結果・課題を踏まえ、最終年度に当たる平成 30 年度の重点施策と数値目標を決定しましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

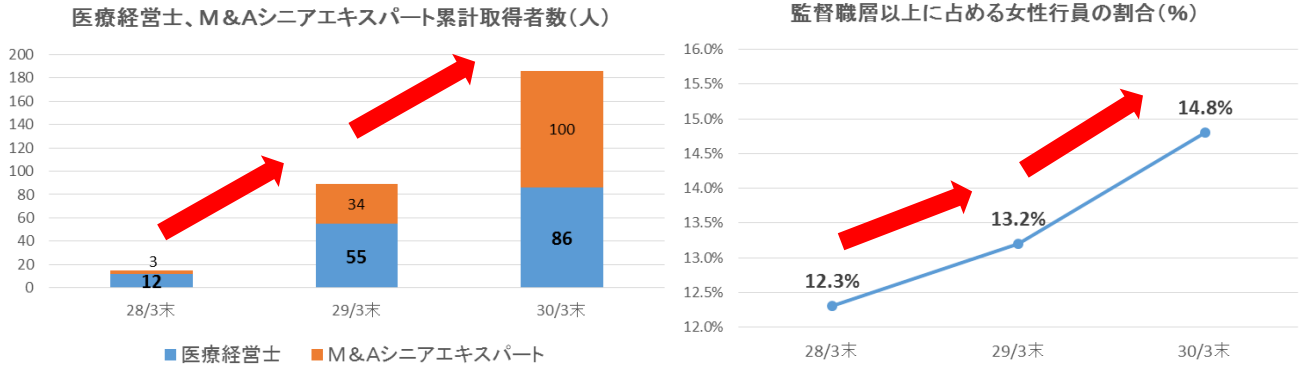
1. 中期経営計画の概要

現在取り組んでおります中期経営計画は、ビジョンである「真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンク」の実現に向け、3つのステップを踏んで到達するためのセカンドステージと位置付けるものです。



2. 中期経営計画 中間年度（平成 29 年度）の総括

（1）戦略目標Ⅰ【ヒトと意識をダイナミックに進化させる】



○専門性の高い資格試験にチャレンジし、お客さまとの対話促進に資する資格の取得者数が増加しました。
 ○監督職層以上に占める女性行員の割合が着実に上昇するなど、女性の活躍に向け環境整備が進んでいます。
 ☞平成30年度も行内外研修の充実等を通じた従業員の成長機会の創出や、やりがい・働きがいの実現に向けた人事制度の構築など、業績向上へつながる行内の態勢整備に取り組んでまいります。

（2）戦略目標Ⅱ・Ⅲ【組織をダイナミックに進化させる・高品質の金融サービス力の発揮】

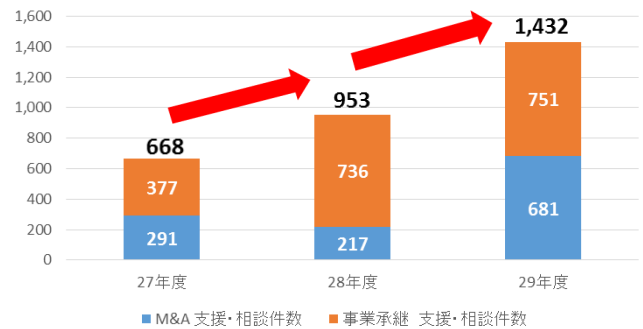
＜営業店業務改革に向けた取組み事例＞

～「クイック窓口」の導入～



○受付カウンターへ専用端末を配置した「クイック窓口」の試行など、ローコスト店舗の実現に向けた取組みを一部店舗で開始しました。
 ☞BPRの推進、ICTの活用強化により業務運営の効率化を促進してまいります。

M&A、事業承継 支援・相談件数推移(件)



○営業店、本部が一体となってコンサルティング営業に取り組み、お客さまの課題解決に向けた支援・相談件数は着実に増加しております。
 ☞本部各部が連携し、営業店支援の一層の強化に努めてまいります。

【しぎん地域活性化ファンド】

クロマグロの完全養殖の実現
(株) 高知水産



幡多地域の食材による地域活性化
(株) ワールド・ワン



【高知県観光活性化ファンド】

ものべみらいグループと
高知大学地域協働学部の提携



【クラウドファンディング】

宿毛市の歴史的建造物
“林邸”の再生

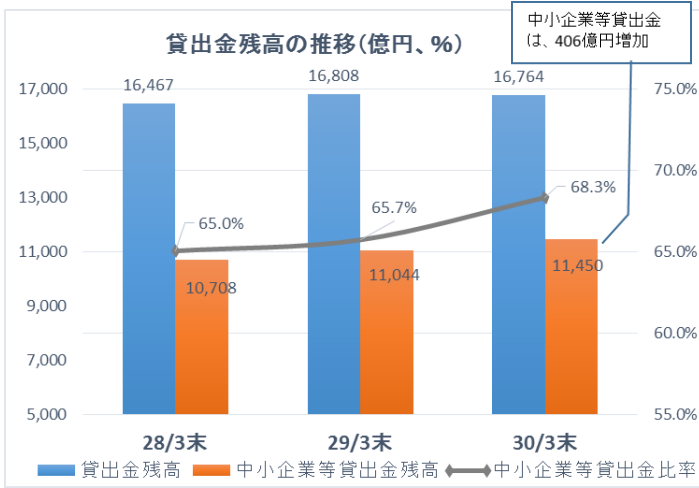


(有)じいんず工房大方のデニム技術
と学生のアイデアによる商品化

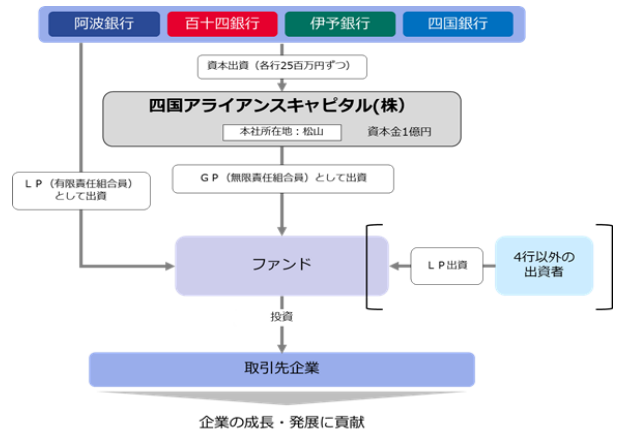


※平成29年度を取組事例の一部を掲載しています。

○起業・新事業展開等を目指す事業者の皆さまに対する「しぎん地域活性化ファンド」を通じた成長マネーの供給や、「高知県観光活性化ファンド」「クラウドファンディング」を活用した活性化支援など、地方創生に向けた取組みを加速させました。
 ☞地方創生への取組みの一層の加速に向け、支援態勢の整備を進めてまいります。



「四国アライアンスキャピタル株式会社」のスキーム図



○営業店・本部間の連携を強化し、事業性評価、コンサルティング営業の推進に努めた結果、中小企業等貸出金は406億円増加、貸出金に占める比率も68.3%に上昇するなどアセット構造の改革が進展しました。

☞本部による営業店支援を一層強化し、成長サポート先等への積極的な関与を進めてまいります。

※成長サポート先…財務データ主体の判断では取組みが困難だが、事業の将来性がある先や、地域に於いてはならない先。

○四国アライアンスによる各種商談会やビジネスマッチングの実施、ファンド運営会社「四国アライアンスキャピタル株式会社」の設立等、四国創生に向けた取組みを本格化させました。

☞ファンドの積極的な活用等を通じ、四国創生に向けた取組みを更に強化してまいります。

(3) 戦略目標Ⅳ【財務力の向上】

■数値目標の結果(単体ベース)

項目	経営指標	平成29年度目標	平成29年度実績
収益性	実質業務純益	77億円以上	83億円
	当期純利益	53億円以上	66億円
	ROE(株主資本ベース)	5.0%以上	6.2%

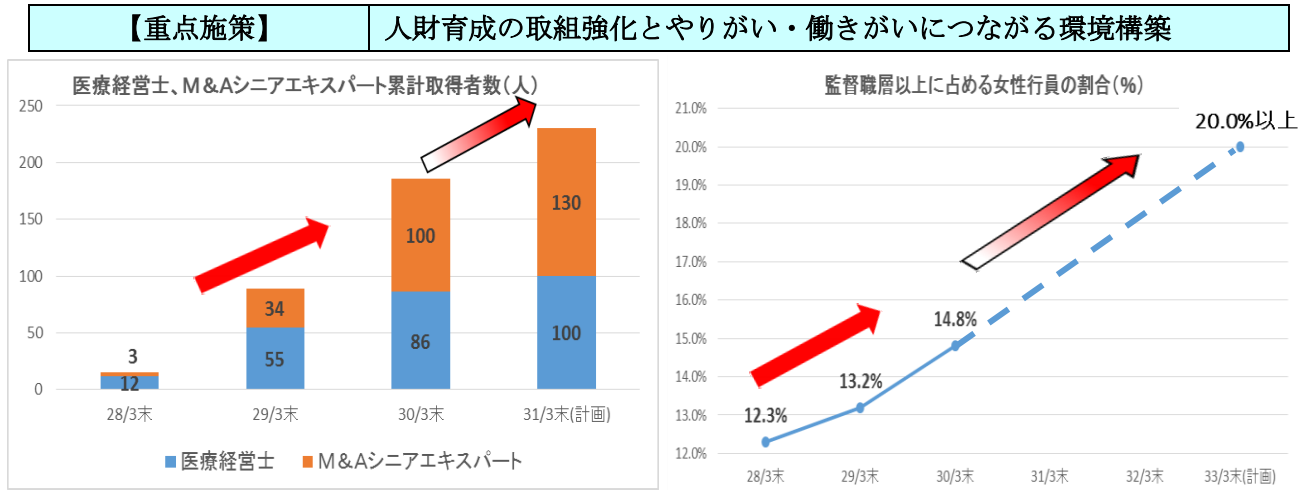
○戦略目標に基づく各種施策に取り組んだ結果、中期経営計画中間年度の収益性目標は全て達成することができました。

☞地域金融機関を取り巻く収益環境は一段と厳しさを増しておりますが、お客さまの成長に資する各種取組みの強化や資産形成へのご支援など、中長期的な視点での取組みを徹底することで、安定収益の確保に努めてまいります。

3. 中期経営計画 最終年度（平成 30 年度）の重点施策と数値目標

中期経営計画の最終年度となる平成 30 年度は、お客さまとともに持続的に成長・発展するため、お客さま本位の質の高い金融サービスの提供を軸とした業務運営を徹底していくことで、ベスト リライアブル・バンクの実現に向けた経営基盤の強化と地域経済の活性化に取り組みます。

(1) 戦略目標 I 【ヒトと意識をダイナミックに進化させる】



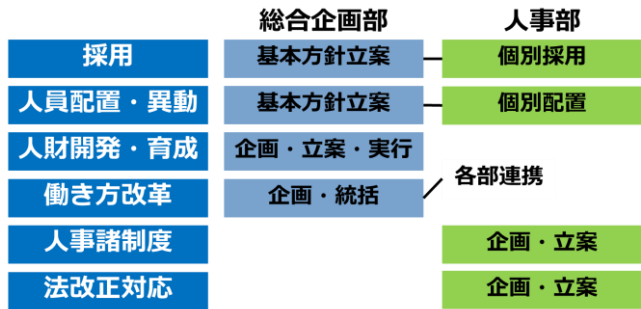
- 資格取得や研修・トレーニングの実施など、中長期的視点に立った人財の開発、育成に取り組みます。
- 女性行員の活躍機会拡大、キャリア形成に向けた取組を強化していきます。

将来を担う人財を育成し、女性活躍や多様な働き方を実現します。

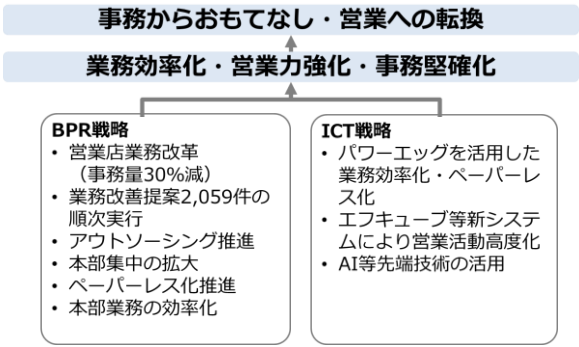
(2) 戦略目標 II 【組織をダイナミックに進化させる】

【重点施策】	①経営戦略を踏まえた人財配置と営業店支援体制の強化
	②営業チャネルの変革
	③BPR の推進および ICT の活用強化による生産性向上

◆経営戦略と人事戦略の一体運営強化



◆重点施策 BPR の推進および ICT の活用強化による生産性向上

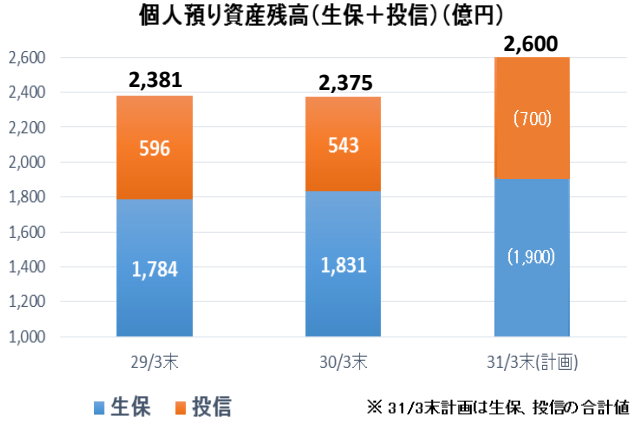
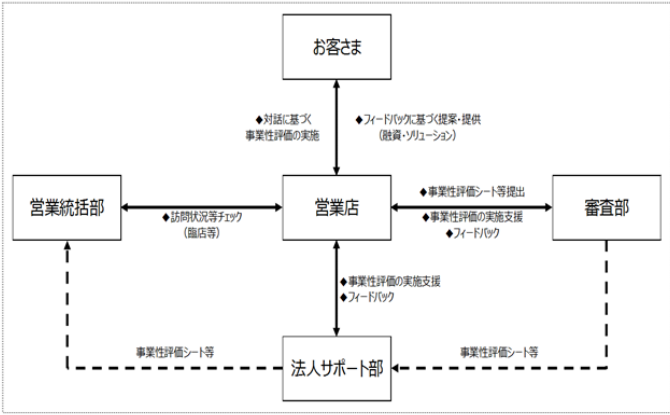


- 経営戦略と人事戦略の一体運営により、各施策の実効性とスピードの向上を図ります。
- 地域戦略に基づいた人財配置とエリア営業の拡大等により、営業力の強化を進めます。
- BPR の推進および ICT の活用強化により効率性・生産性を高め、お客さまへの高品質なサービスの提供を実現します。

(3) 戦略目標Ⅲ【高品質の金融サービスの発揮】

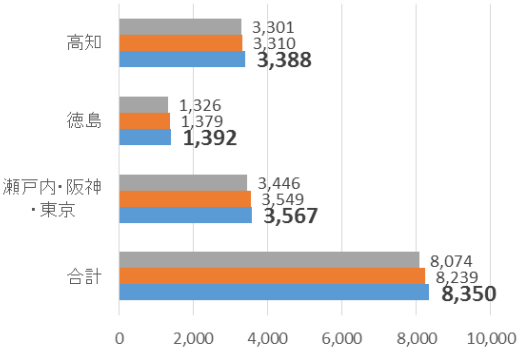
【重点施策】	①お客さま本位のコンサルティング営業の徹底
	②四国アライアンスを通じた四国創生に向けた取組み強化

「事業性評価に関する体制」

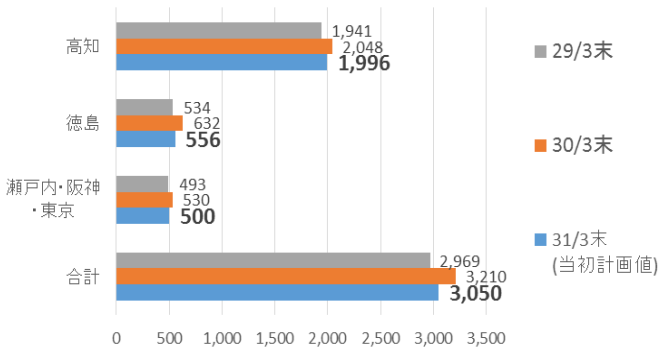


○審査部、法人サポート部、営業統括部が営業店と情報共有のうえ連携して成長サポート先等の課題解決にあたるなど、お客さまの事業性評価に基づく金融仲介機能の発揮に努めていきます。
 ○お客さまのライフプラン実現を支援する商品・サービスの提供に努めるとともに、家計の安定的な資産形成を進めるため「長期・積立・分散」投資を推進します。

地域別中小企業向け貸出金残高推移・計画(億円)



地域別個人向け貸出金残高推移・計画(億円)



○当行独自の地域戦略に基づいた営業活動を徹底することで、法人・個人の取引基盤の拡大を図ります。

■地方創生への取組み

四国アライアンス 平成29年度実施施策

<四国アライアンス>

興す

- ファンド運営会社の共同設立
- シンクタンクによる地域経済の共同研究 など

活かす

- 4県の特産品をPRするための共同企画実施
- 四国資源のブランド化推進に向けたプラットフォームの構築及び整備 など

協働する

- 事務の共同化
- 4行間の人材交流 など

繋げる

- 4行でのビジネスマッチングの開始
- 海外ビジネス交流会の開催
- 東京証券取引所との連携 など

育む

- 四国アライアンス証券(旧・いよぎん証券)の共同活用
- 独自の投資信託・保険商品開発
- 有価証券の共同運用実施 など

阿波銀行 百十四銀行 伊予銀行 四国銀行

四国アライアンスキャピタル(株) 事業開始にあたるセレモニーの様様



○四国アライアンスキャピタル株式会社や四国アライアンス証券株式会社の活用強化、ビジネスマッチングの推進等の取組みを通じ、引き続き、お客さまの成長・発展、地方創生への貢献に努めてまいります。

(4) 戦略目標Ⅳ【財務力の向上】

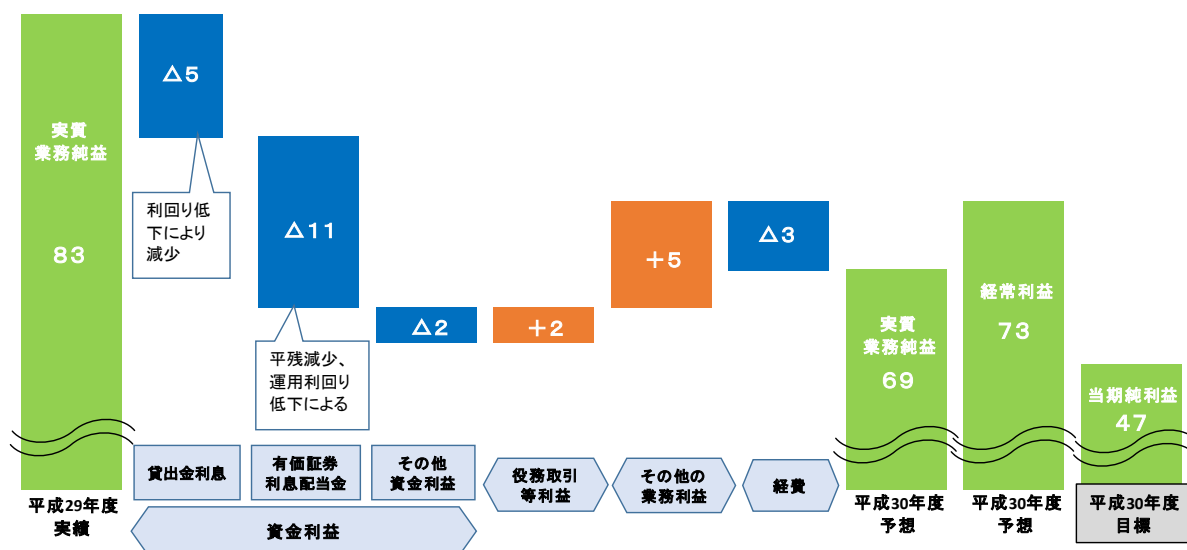
■平成30年度の数値目標（単体ベース）

項目	経営指標	平成29年度実績	平成30年度目標
収益性	当期純利益	66億円	47億円以上
	ROE(株主資本ベース)	6.2%	4.0%以上

※平成29年度と同様に単年度の目標としております。

○お客さま本位の業務運営の徹底と当行の持続性の基盤となる地域活性化への貢献、加えて、フォワードルッキングな視点に基づくリスク管理を強化することで、下記数値目標の達成に取り組んでまいります。

損益項目の増減要因(単位:億円)



(ご参考)

中期経営計画における規模と健全性の目標につきましては、3か年計画の最終年度の数値目標としており、今回変更ございません。

項目	経営指標	平成29年3月末実績	平成30年3月末実績	最終年度目標
規模 (31/3末)	貸出金残高(末残)	1兆6,808億円	1兆6,764億円	1兆7,300億円以上
	預金等残高(末残)	2兆6,203億円	2兆6,846億円	2兆6,000億円以上
	個人預り資産残高(投信+生保)	2,381億円	2,375億円	2,600億円以上
健全性 (31/3末)	自己資本比率	9.56%	9.71%	9%台後半

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 四国銀行 総合企画部

担当 谷脇、澤村 tel.088-871-2199